


さつきも無理やり
ちんぽを挿れたら
なすがままに
ヤらせてくれた

強く頼まれたり
するのには
弱いみたいだ

.....

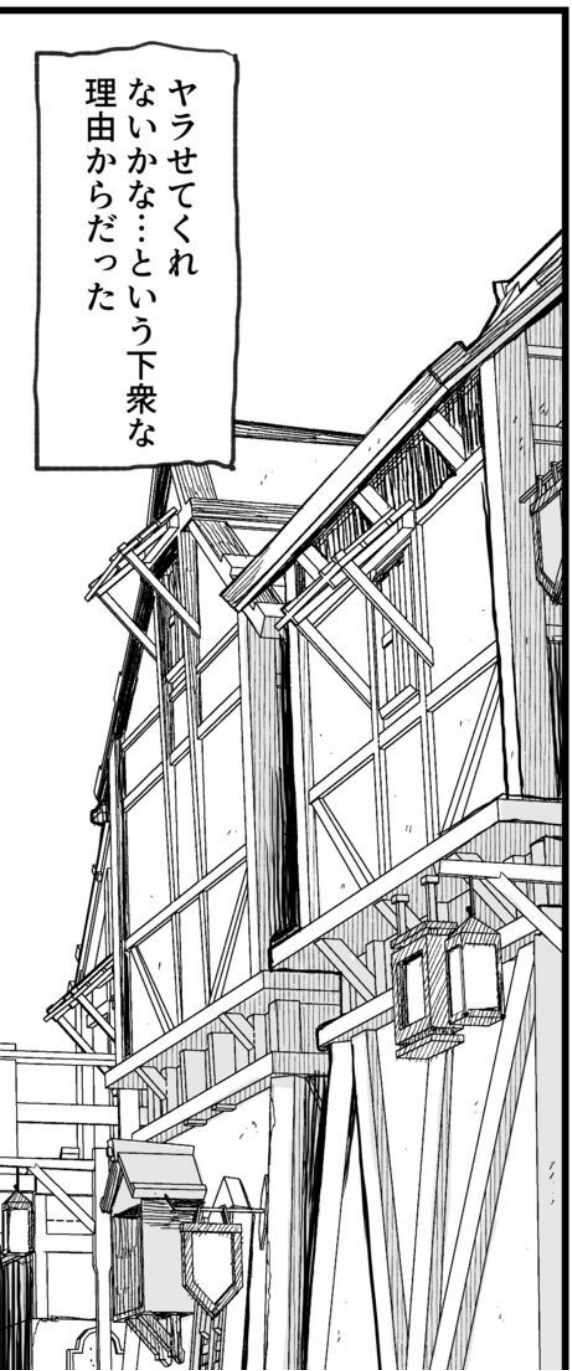


やっぱりデカイ！



僕が彼女に声を
かけた理由は
ちよろそうだったから

いつも独りで暗そうだし
大人しそうだったから



ヤらせてくれ
ないかな...という下衆な
理由からだった

もちろん彼女は
こういった経験も無く
されるがままだった

ちよ…

ちよっと
待って…っ

アッ
アッ
アッ

あ…あ

あ…

あ…

彼女の女性器は
温かくヌルヌルで
とても気持ち良かった

初めての感覚、快楽に
夢中で腰を振っていた

あ…

エルフさんっ

あ…

エルフさんっ

あ…

あ…

ハァ
ハァ
ハァ

アッ

ハァ
ハァ
ハァ

アッ

アッ

アッ
アッ

ハァ
ハァ
ハァ

アッ

ハァ
ハァ
ハァ

あ…

アッ

気づいたら彼女の膣内に
射精していた
本能なのか、とにかく
奥に一滴残らず射精した

ハナハナ...
ハナハナ...
ハナハナ...

ム...
ム...
ム...

レス...

ヒクヒク
ヒクヒク

大きな喘ぎ声は
出さなかったけど
奥に射精した時に
強く締め付けてきた

体を震わせながら
静かに彼女も
イッていた

あー...
気持ち良すぎる...

これでもう
童貞じゃないんだ...

今度から
やりまくるぞ...

^^...

はあ...